



本校創立120周年記念
鉛筆とマスキングテープ

乙島っ子

令和5年度 NO. 20

令和5年10月17日 倉敷市立乙島小学校

「お手本」さん - 2学期のテーマ追究の姿



「『お手本』を見つけよう」をテーマに、日々の学習に取り組んできている私たち。早速、いろいろな場面で「『お手本』さん」の姿が見られています。久しぶりとなった今号では、それらのいくつかを紹介します。

9月26日の朝、登校したばかりの4年生の児童が、筆者にごみの入ったビニル袋を渡してくれました。何でも、通学路に捨てられていたお菓子のごみやコーヒーの空き缶などを、これも捨てられていたビニル袋に入れ入れ登校してきたとのこと…。「先生、この中には不燃物が入っているので、分別して捨ててくださいね。」「ああ、私にごみの処理を求めて来たのか…。でも、これぞ、「いそいそ さぎょう」、即ち、「公共」の姿ではありませんか。

「いきいき べんきょう」、これは、児童のみならず、児童の「お手本」であるべき「教師」の方も、当然、求めていく姿です。9月25日の研究授業に向け、5年生の先生は、夏休みの時分から教案検討に勤しんでいました。その「本番」の日、「班の仲間で学習場面を読み合い、粗筋を確認しよう」ともちかけられたシーン…。カメラを向ける筆者に対し、「先生、ぼくの姿を撮って、学校だよりに載せてくださいね」とアピールする児童。後日、保護者の方に掲載の許諾を求めると、「まあ、うちの子ったら…」と呆れられた反応でしたが、「でも、『めざす子ども像』が分かっているからこそ、掲載を求めてきたのですよ!」との筆者の説得に納得していただきました。



県教委は、「岡山型PBL」を進めてきています。「PBL」、即ち、「Project Based Learning」とは、「児童が、自ら課題を見付け、その課題を自ら解決する過程を通して、課題解決に必要な資質・能力を身に付ける学習方法」のことで、「課題解決型学習」ともいわれます。本校では、既に委員会活動で頼もしい児童の姿が見られています。



八つのレベル達成をめざそう

運営委員会による「あいさつビンゴ」



放送委員会のお昼の放送プロジェクト



図書委員会の読書週間プロジェクト

現在、6年生児童は、本校創立120周年を記念して、ブックレットづくりや、1月31日に予定している「お祝いの会」をプロジェクトとして進めています。先日の友愛セールでは、PTAも同調した動きをしてくださいました。この学習活動を通し、地域の方を含め、様々な「『乙小愛』をもったひとびと」に気付かせていきたいと思ひます。



「祝おう！ 乙小、120歳」プロジェクト



PTAも鉛筆、マステで同調



「もの」から見えてくる「乙小愛」